

都市再生整備計画(第5回変更)

えんめいこうえんしゅうへんちく
延命公園周辺地区

ふくおかけん おおむたし
福岡県 大牟田市

令和6年12月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式（１）-②

都道府県名	福岡県	市町村名	大牟田市	地区名	延命公園周辺地区	面積	100.5	ha
計画期間	令和 3 年度 ～ 令和 7 年度	交付期間	令和 3 年度 ～ 令和 7 年度					

目標
大目標：中心市街地の賑わいの創出と健康的な暮らしを支える交流拠点の形成 目標1： 観光、レクリエーション、健康、スポーツ機能を備え、市内外の子どもから高齢者まで多くの人々が訪れ、交流することで活気と賑わいが生まれるまちの形成 目標2： 延命公園周辺の道路環境改善と防災機能の拡充による利便性と安全性の確保
目標設定の根拠
都市全体の再編方針（都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針） ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市では、基幹産業である石炭産業の衰退に伴い、昭和34年をピークとして、地方都市の中でも早い段階から人口減少に転じており、現在の人口はピーク時から約1/2となっている。その結果、市街地内の人口密度の低下や空家・空地の増加、生活利便施設の減少など、人口減少による悪影響が顕著に表れており、人口減少に対応した市街地のコンパクト化が求められている。 そのような中、本市の立地適正化計画では、市民生活に欠かせない医療・福祉、商業などの都市機能や居住の適正化を図り、公共交通と連携したコンパクトな都市づくりを推進することで、今後の急速な人口減少や少子高齢化に対応した「市民にとって利便性の高い、持続可能なまち」を目指すこととし、まちづくりのターゲットを「市民が便利に暮らすための生活サービス施設の維持」「大牟田市に通い・訪れる方をもてなすための施設の充実」「地域まちづくり活動と連携した地域に必要な施設の充実」の3つを掲げ、都市全体の再編に努めている。 このうち、本地区が位置する延命公園周辺を都市機能誘導の政策拠点に位置づけ、体育施設・文化施設が立地し、市街地内の憩いとスポーツ・レクリエーション活動の中心として、多くの人が訪れることができる緑豊かな都市空間として、必要な関連施設の維持・充実を図ることとしている。
まちづくりの経緯及び現況 本地区は大牟田市の中心部に位置し、市役所や市立病院などを含む国道208号に接した市街地である。地区の南部には自然の丘陵地を生かした延命公園（総合公園：18. 1ha）があり、公園内には市民体育館や延命球場をはじめ動物園などの公園施設、また、周辺には御大典記念グラウンドなどスポーツ施設や観光施設が集積している。 延命公園は昭和15年に開園した、地形の変化に富み貴重な生物が棲む自然あふれる特徴的な公園であり、これまで部分的な改修事業を行うものの、現代の公園としての魅力が著しく低下し利用者も少ない状況にある。 このような中、公園内にある「大牟田市動物園」は平成18年から導入した指定管理者制度に基づく民間事業者による運営により、徐々に来園者が増加し、近年では動物福祉に重点を置いた飼育方法や特徴ある展示方法により全国的に注目を浴び、市外からの来訪者を中心に年間約24万人が来園するなど、本市の主要な観光施設へと成長している。 また、こうした動物園の更なる魅力向上を図るため、本市出身の絵本作家「内田麟太郎」の原画展示を中心に絵本の楽しさなどを伝える「ともだちや絵本美術館」（令和3年春完成予定）の整備も進めている。 しかしながら、同じ延命公園内にある市民体育館は昭和49年に整備され、これまで本市のスポーツ活動の中核施設として多くの方々に利用されてきたが、45年が経過する中で、バリアフリーの不備や空調設備の未設置、多様なスポーツへの適応に課題を抱えており、近年の利用者は減少傾向にある。更には、旧耐震基準である課題も抱えている。 市道「浄真町橋線」は、周辺施設へアクセスする重要な道路であり、加えて近隣の小中学校の通学路としても位置づけられるが、一部区間で歩道がなく、交差点も歪な形状であることから交通処理能力が低いため、大規模なスポーツ大会開催時や観光シーズンなどでは、周辺の駐車場不足と相まって渋滞が発生し、来訪者のみならず近隣の住環境にも影響を与えている。加えて市道「不知火町1丁目一浦町線」等についても、小中高等学校の通学路として位置づけられるが、自転車と歩行者・自転車との区分が明確でない。 一方、地域においては、人口減少や高齢化とともに地域づくりの担い手の減少などにより地域コミュニティの希薄化が課題となっている。 防災面においては、指定避難地である市民体育館のみならず避難地を兼ねた延命公園、自衛隊の活動拠点として位置づけている延命庁舎、ヘリポートを兼ねる記念グラウンドのように、この地域は災害発生時の防災拠点が集積しており、災害時における市中心部の中核的な防災拠点として高いポテンシャルを備えている状況にある。
課題 【延命公園周辺の課題】 延命公園は、これまで動物園や市民体育館など拠点施設はあるものの、それらを連携した活用が図られてこれなかった。特に動物園は、市外から年間を通じて多くの方々に利用されているが、その多くは滞在時間が2時間程度である。そのため、地域経済をはじめとした地域の活性化を図るためにはこれら拠点施設の魅力化に向けた充実とともに、連携を踏まえた公園整備が必要である。 加えて、園内及び周辺にはスポーツ施設が集積しているが、これら周辺施設などとの連携を深めるための機能が十分でなく、延命公園エリアの魅力を更に高め、本市の魅力あるスポーツ、レクリエーション等の主要な拠点として充実させ、地域、ひいては本市の活性化につなげることが求められている。 そのため、バリアフリーの不備や空調設備が無いなど利便性と快適性に欠けている市民体育館を改築し、快適なスポーツ環境を提供するとともに、トップレベルのスポーツ大会開催やフットサルなど多様化したスポーツへの対応、地域住民にとって身近に利用できる健康づくりや体力づくりの拠点など幅広い視点での活用を想定した魅力の向上を図ることが、この地区を活性化させることに対しより効果的であると考えられる。また、地域防災計画に定める指定避難所に位置づけているものの、旧耐震基準による建築であることから、改築と併せて指定避難所として耐震性の確保が求められている。 本市は他都市に比べ人口減少、高齢化の進展が早いことから、地域においても、地域コミュニティの維持と高齢者の健康づくりや生きがいづくりが重要である。こうした地域住民の健康づくりの中心拠点として、さらには観光客や様々な市民活動を目的に集う人々との交流が生まれる拠点となり、それぞれの活動が活気と広がりにつながり、地域の課題が解決に向かうための新たな機能を備える施設の整備が必要である。このような施設の整備においては、人口減少に伴う公共施設の集約化のため、郊外の障害者の文化体育施設「サン・アビリティーズおおむた」との複合化を想定しており、障害者への理解や社会参加等を促進するため、これまで積み重ねてきた障害者と地域住民との交流を、本地区においても同様に確保することが不可欠である。 また、防災拠点としてのポテンシャルの高い本地区において、各施設の防災機能を更に充実させることで、近年多発する災害に対し、市中心部を担う中核的な防災拠点とすることが求められている。 【その他の課題】 駐車場の不足と歪な交差点による周辺道路の渋滞解消と周辺地区の魅力向上に伴う来訪者の増加に対応するため、利便性の向上のための交差点改良などの道路整備が必要である。また、小中学校の通学路でありながら、一部歩道の未整備や自転車通行の非分離が原因で安全性に問題があるため、自転車通行帯の設置などについても併せて行い、安全で快適な住環境の形成に向けた整備に取り組む必要がある。

将来ビジョン（中長期） 【大牟田市総合計画】「人とのが行き交い、にぎわうまち」:動物園などの観光資源を磨き、活かしながら、延命公園周辺施設と連携した観光の振興による賑わいづくりと地域の活性化 「スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち」:スポーツを通じた健康づくりや体力づくりからスポーツイベントによるスポーツツーリズムなどによる交流人口の拡大や地域の活性化を図るとともに動物園をはじめ公園施設の充実や各施設と連携した事業などに取り組むことで本市のスポーツ・レクリエーション拠点として充実につなげる。 「安全で安心な道路空間の確保」:道路の整備により生活道路として安全安心の確保や防災機能の向上、更には観光客における利便性や住環境の向上に寄与する道路空間の確保。 「高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち」:本市の高い高齢化率を踏まえて、介護予防をはじめ健康づくりなど保健福祉の観点による総合体育館や地域交流センターの活用 「障害があっても、みんなと一緒に自分らしく暮らせるまち」:障害者の文化・体育施設との複合化により、パラスポーツなどスポーツ活動や文化活動の更なる充実と障害者への理解や障害者の社会参加の促進 【大牟田市まち・ひと・しごと創生総合戦略】基本目標3大牟田市へ新たな人の流れをつくる「3. ひとと呼ぶ新しいにぎわいの創出」:大牟田市動物園の魅力向上のために、駐車場の整備をはじめ、トイレや獣舎・絵本美術館などの整備を行うこととしている。 【都市計画マスタープラン】延命公園周辺は、体育施設・文化施設が立地し、市街地内の憩いとスポーツ・レクリエーション活動の中心として、さらには、それを観覧できる環境整備を進めることで、多くの人が訪れることができる緑豊かな都市空間として活用します。 【立地適正化計画】延命公園周辺を政策誘導型都市機能誘導区域と位置づけ、運動施設や地域交流センターとしての機能を持つ総合体育館を延命公園内に整備するとともに、郊外にある障害者文化体育施設「サンアビリティーズおおむた」や労働福祉会館など他の公共施設との複合化を併せて行うことでコンパクトなまちづくりに寄与する。 【緑の基本計画（令和2年度改定）】動物園や絵本美術館などの教養施設を備え、体育館をはじめとした運動施設が集積する延命公園を本市の観光振興拠点である「地域づくり拠点公園」として位置づけ、公園施設の整備を総合的に取り組むこととしている。 【地域防災計画・支援計画】本地区及び周辺には緊急消防救援隊活動拠点（旧延命中学校）や自衛隊活動拠点（延命庁舎）、ヘリポート（記念グラウンド）など防災拠点が集積しており、その中でも指定避難所である体育館の耐震化と併せて災害備蓄庫などの防災機能を充実させるとともに、延命公園の避難地を整備することで防災拠点としての機能を更に高め、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりにつなげる。 【大牟田市公共施設維持管理計画】本市の公共施設においては、今後も人口減少が進む中、将来に向けて適正な規模の公共施設を維持するため、建物床面積の20%削減を目標とする「大牟田市公共施設維持管理計画」を策定している。そのため総合体育館や地域交流センターの整備については、この計画との整合を図るため、他の公共施設の複合化を行うこととしている。この複合化により障害者の文化・スポーツ活動拠点が総合体育館や地域交流センターに集約されることで、一般利用者である健常者との垣根のない新たな交流拠点が生まれ、障害者に対する理解が更に深まるとともに障害者の社会参加などの促進につながり、更に地域の様々な市民活動との交流も生まれ、スポーツをはじめとした諸活動の充実など相乗効果が期待できる。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
都市機能配置の考え方 本市では、都市計画マスタープランの将来都市構造において位置付けている生活拠点（都市拠点、地域拠点、地区拠点）及び政策拠点（広域交流拠点、レクリエーションゾーン）において、立地適正化計画制度を活用した都市機能誘導区域（生活利便型、政策誘導型）の設定により、都市機能誘導区域内への都市機能の適正配置を進めている。そのうち、公共施設においては、大牟田市公共施設維持管理計画において、施設総量を大幅に縮減していく必要があることから施設の新設は原則として行わないものの、政策的な判断等により施設の新設を行う場合、他施設の機能移転・代替などによる施設総量の縮減、民間施設の活用や他施設との複合化等を検討することとしている。 本地区で整備予定の大牟田市総合体育館では、第二市民体育館や労働福祉会館、サン・アビリティーズおおむたといった既存施設との統合・複合化を進めることにより、都市機能の適正配置を進める。
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 老朽化の著しい市民体育館の建替えと合わせて、第二体育館や労働福祉会館、サン・アビリティーズおおむたとの複合化により、来訪者の来訪機会・滞在時間の拡大、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図り、本市のスポーツ・レクリエーション活動の中心としてのレクリエーションゾーンの形成を目指す。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 特になし

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
延命公園への来訪者数	千人／年	整備前後における延命公園への来訪者数の増加	来訪者の増加が目標である地区の活気や賑わいにつながることから設定	402千人／年	令和2年度	402千人／年		令和7年度
延命公園への来訪者の滞在時間	時間	整備前後における延命公園来訪者の滞在時間の増加	来訪者数と同様に滞在時間も地区の活気や賑わいにつながることから設定	1.37時間	令和2年度	1.75時間		令和7年度
地域の安全性の向上	%	地域住民等へのアンケート調査により、周辺地域の安全性について満足と回答した人の割合の増加	目標である周辺地域の安全確保について地域住民がその安全性を理解し実感すること	38.0%	令和2年度	48.4%		令和7年度

計画区域の整備方針	
・整備方針１（交流人口の拡大等による地域の活性化） 関連施設の整備とともに周辺施設が連携した事業を展開することにより、延命公園周辺エリアの魅力を向上させ、観光、スポーツ、レクリエーション、地域交流等の中心拠点として更なる充実を図り、地域はもとより本市の活性化につなげる。	方針に合致する主要な事業 ■運動施設【基幹事業・公園】 ■公園整備（市民体育館跡地）【基幹事業・公園】 ■駐車場整備（徒渉プール跡地）【基幹事業・公園】 ■公園整備（園路）【基幹事業・公園】 ■お花見広場整備【基幹事業・公園】 ■延命配水池広場整備【基幹事業・公園】 ■案内板整備（大牟田駅～動物園）【基幹事業・地域生活基盤施設】 ■地域交流センター整備【基幹事業・高次都市施設】 □第2グラウンド整備（第2市民体育館跡地）【提案事業・地域創造支援事業】 □事後評価分析【提案事業・事業活用調査】
・整備方針２（中心市街地との回遊性向上及び安心・安全につながる地域づくり） 耐震性のある総合体育館や地域交流センターの整備、防災機能を備えた公園整備 などにより本市中心部の防災拠点として更なる充実を図るとともに、道路の整備による交通の円滑化と安全な歩行空間の確保を行うことで、中心市街地との回遊性の向上と通学利用者をはじめ地域における安心安全な住環境を形成する。	■市道浄真町橋線・宝坂町2丁目黄金町2丁目線【基幹事業・道路】 ■自転車通行帯整備（市道不知火町1丁目一浦線）【基幹事業・道路】 ■運動施設【基幹事業・公園】【再掲】 ■公園整備（市民体育館跡地）【基幹事業・公園】【再掲】 ■防災備蓄倉庫整備【基幹事業・地域生活基盤施設】 ■地域交流センター整備【基幹事業・高次都市施設】【再掲】 □事後評価分析【提案事業・事業活用調査】【再掲】 □立地適正化計画改定【提案事業・事業活用調査】 □文化会館天井耐震改修【提案事業・地域創造支援事業】
その他	
【運動施設及び地域交流センタの整備手法】 実施設と施工の一括発注（DB方式）により事業期間R3～R5の3か年で契約。 【まちづくりの住民参加】 ・運動施設である体育館については、市民ワークショップを開催し望まれる機能や利活用について意見聴取を行った。 ・延命公園の基本計画改定においても、市民ワークショップを開催し、利用者視点に立った公園施設の整備について高校生から高齢者まで幅広い意見を頂いた。 【立地適正化計画との整合】 本市の人口はS34の208,887人をピークに一貫して減少しておりR2現在では112,742人、R17では89,400人まで減少することが予測されている。こうしたことから、都市全体の構造を「コンパクト・プラス・ネットワーク」を基本に住宅と生活サービスに関連する医療、福祉、商業等の利便施設がまとまって立地するよう緩やかに誘導を図りながら公共交通と連携したまちづくりを進めるため、平成30年に「大牟田市立地適正化計画」を策定した。立地適正化計画においては、まちづくりの重点施策の一つとして、「大牟田市内に通い、訪れる方をもてなすための施設の充実」を掲げており、延命公園周辺については、都市機能誘導区域として都市機能の誘導・集約をすることともに政策拠点として「政策誘導型都市機能誘導区域」に位置づけ、体育施設・文化施設が立地し、市街地内の憩いとスポーツ・レクリエーション活動の中心として、そして多くの人が訪れることができる緑豊かな都市空間として必要な関連施設の維持・充実を図ることとしている。また、災害に強いまちづくりを進めるため、災害リスクの少ない地域への都市機能等誘導を図ることとしており、「有明海沿岸高潮浸水想定区域」の浸水想定区域外にある延命公園周辺地区への防災機能の充実と浸水想定区域内の公共施設（サン・アビリティーズおおむた等）の複合化（誘導）は安心・安全な地域づくりに寄与するものである。	

様式 (1) - ④ - 1

(金額の単位は百万円)

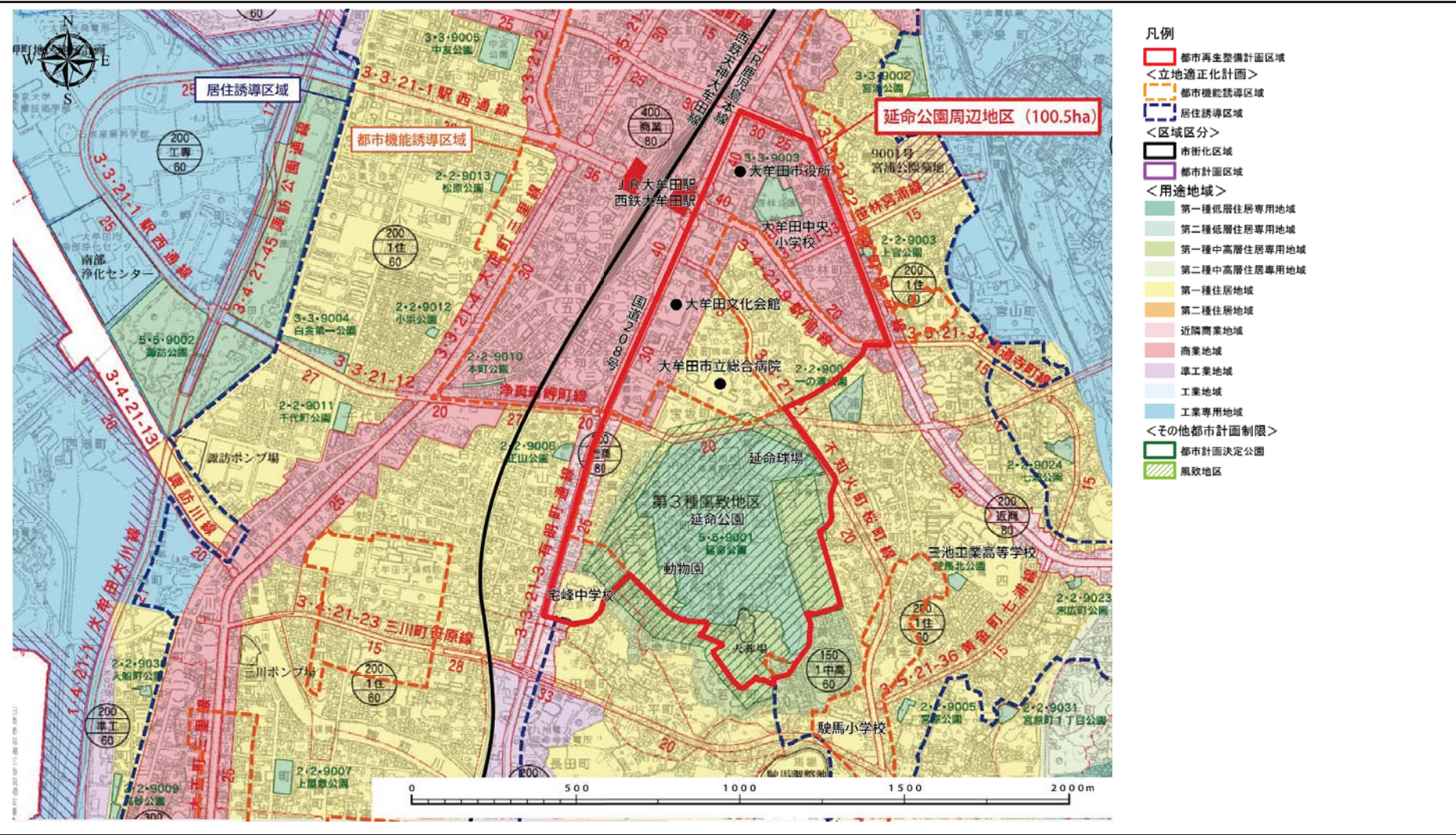
...A

...B

合計(A+B)	6,763.2
---------	---------

0

延命公園周辺地区（福岡県大牟田市）	面積	100.5 ha	区域	大牟田市有明町2丁目、曙町、上町1丁目、2丁目、笹林町1丁目、2丁目、一浦町、原山町、不知火町1丁目、2丁目、宝坂町1丁目、2丁目、黄金町1丁目、2丁目、昭和町、浄真町、右京町、延命寺町、若宮町の一部
-------------------	----	----------	----	--

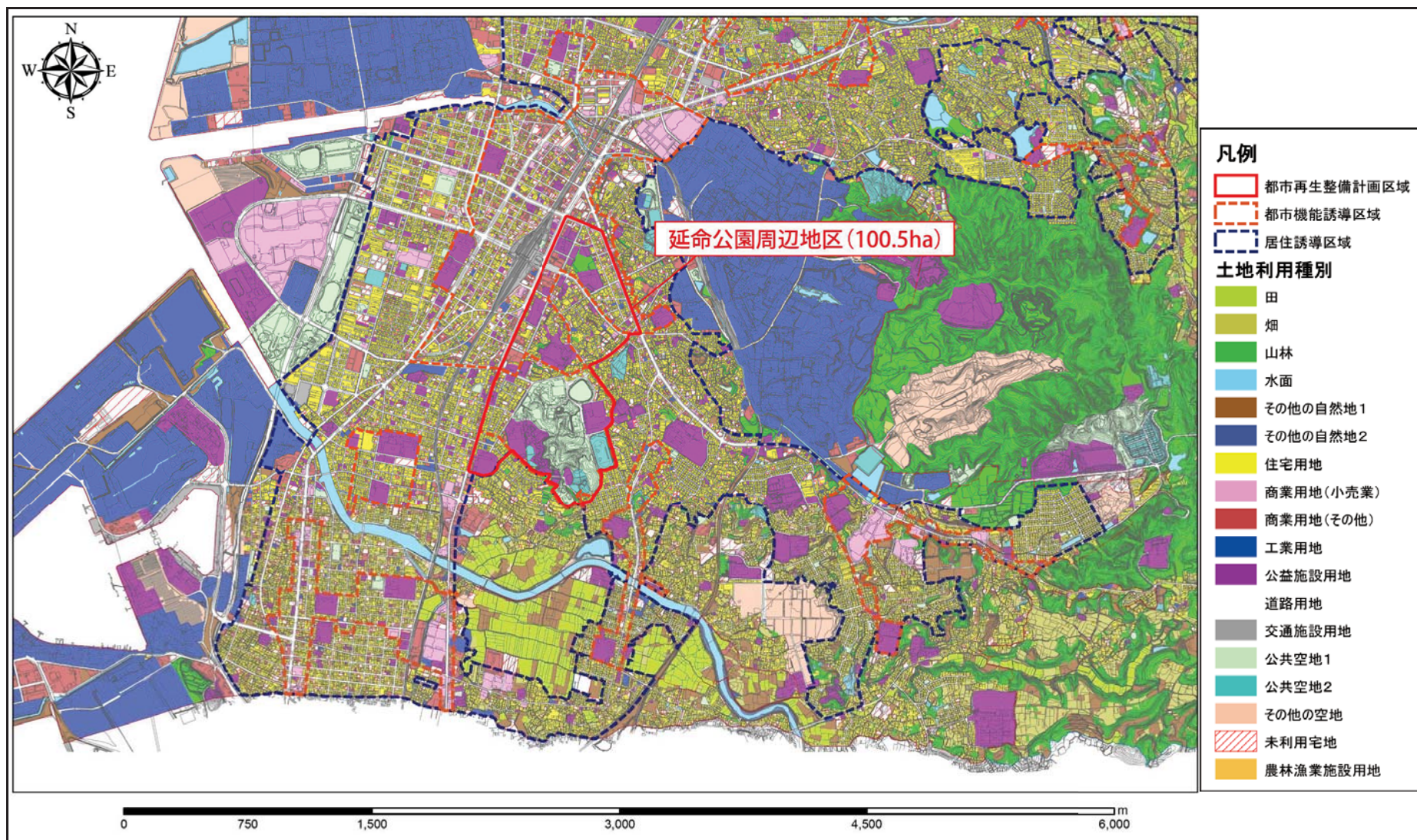


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

えんめいこうえんしゅうへんちく（ふくおかけんおおむたし）
延命公園周辺地区（福岡県大牟田市）

延命公園周辺地区(福岡県大牟田市) 現況図



交付限度額算定表（その１）

延命公園周辺地区（福岡県大牟田市）

様式（２）-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計（X）	3,380.7 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額（Y）	5,576.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	3,380.7 百万円
-----------------------------	-------------	-----------------------	-------------	--------------------	-------------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	401,809 m ²
----	------------------------

公共施設の上限整備水準			
区域面積（m ² ）		1,004,522	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合		区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	○	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

CI	240,290 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	1
公示価格の平均値（円/m ² ）	61,000
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度（戸/m ² ）	0.001
標準補償費（円/戸）	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	0 百万円
-----	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名（事業名）	面積（m ² ）	国庫補助事業費等（百万円）
合計	0	0

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額（活用する交付金の欄のみご記載ください。）

<都市構造再編集集中支援事業>	
交付限度額(X1)	3,380.7 百万円

<都市再生整備計画事業>	
交付限度額(X2)	百万円

<まちなかウォーカーカブ推進事業>	
交付限度額(X3)	百万円

Ap	359,450.603 m ²
----	----------------------------

公共施設の現況整備水準	
整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積（m ² ）	0

Op	個別公共施設の積み上げ	
----	-------------	--

	面積（m ² ）	割合
道路	165,451	0.16
公園	194,000	0.19
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	359,451	0.36

Cnを考慮しない場合の交付限度額（Y1）	5576 百万円
----------------------	----------

ΣCn	0 円
-----	-----

下水道	0 円
区域面積（m ² ）	
うち現況の供用済み区域面積（m ² ）	
標準整備費（円/m ² ）	
3,600	

地域交流センター等の公益施設（建築物）	0 円
上限床面積（m ² ）	9,400
標準整備費（円/m ² ）	441,000

調整池	0 円
調整池の容積（m ³ ）	
標準整備費（円/m ³ ）	140,000

河川	0 円
河川整備延長（m）	
標準整備費（円/m）	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数（戸）	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費（円/戸）		超高層 一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
	一般地区	33,700,000 28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積（m ² ）	
標準共同施設整備費（円/m ² ）	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長（m）	
標準整備費（円/m）	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積（m ² ）	
標準整備費（円/m ² ）	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費（円）

Cnを考慮した場合の交付限度額（Y2）	5576 百万円
---------------------	----------

交付限度額算定表（その２）（都市構造再編集集中支援事業）

様式（２）-④-１

【当初から都市構造再編集集中支援事業を実施する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定（詳細）

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。（事業費の単位：百万円）

＜都市機能誘導区域内＞

交付対象事業費	基幹事業合計（Ａ）	6,492.8	（事業費）
	提案事業合計（Ｂ）	253.0	（事業費）
	合計(Ａ+Ｂ)	6,745.800	（事業費）

以下の２つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠２割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合：都市機能誘導区域の面積の市街化区域等（市街化区域又は非線引き用途地域）の面積に占める割合。

＜都市機能誘導区域外＞

交付対象事業費	基幹事業合計（Ｃ）	17.4	（事業費）
	提案事業合計（Ｄ）		（事業費）
	合計(Ｃ+Ｄ)	17.400	（事業費）

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ （α1）		①
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合： $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	6,761.460	
$(10/9 \times (A+C))$ （α2）		②
※提案事業２割拡充を適用する場合： $(10/8 \times (A+C))$	7,233.556	
交付限度額（①、②の小さい方×1/2）	3,380.730	③（国費）

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(Ａ+Ｂ+Ｃ+Ｄ)	6,763.2	（事業費）
------------------	---------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 （③を１万円の位を切り捨て）	3,380.7	④（国費）
国費率	0.500	⑤（国費率）

基幹事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
道路		市道浄真町橋線・宝坂町2丁目黄金町2丁目線	大牟田市	270.0	10.0	51.0	98.0	81.0	30.0
	自転車通行帯整備（都市機能誘導区域内）	市道不知火町1丁目一浦町線	大牟田市	2.6				2.6	
道路	自転車通行帯整備（居住誘導区域内）	市道不知火町1丁目一浦町線	大牟田市	17.4				17.4	
公園		運動施設	大牟田市	3,780.5	389.7	2,168.3	1,059.0		163.5
公園		公園整備（市民体育館跡地）	大牟田市	336.0			2.0	200.0	134.0
公園		駐車場整備（徒歩プール跡地）	大牟田市	89.0	89.0				
公園		公園整備（園路）	大牟田市	104.0	13.0	20.0	30.0	41.0	
公園		お花見広場整備	大牟田市	64.0	7.5		56.5		
公園		延命配水池広場整備	大牟田市	35.0	5.2		29.8		
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
	案内板整備	大牟田駅～動物園	大牟田市	8.0	2.0			6.0	
	防災備蓄倉庫整備	延命公園防災備蓄倉庫整備	大牟田市	36.0			3.0	33.0	
高質空間形成施設									
高次都市施設	地域交流センター	地域交流センター	大牟田市	1,767.7	182.2	1,013.8	495.2		76.5
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
誘導施設	医療施設								
	社会福祉施設								
	教育文化施設								
	子育て支援施設								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				6,510.2	698.6	3,253.1	1,773.5	381.0	404.0
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域創造	第2グラウンド整備	第2市民体育館跡地	大牟田市	153.0			2.0	116.0	35.0
支援事業	文化会館天井耐震改修	大牟田文化会館	大牟田市	85.0				32.0	53.0
事業活用	事後評価分析		大牟田市	5.0					5.0
調査	立地適正化計画改定		大牟田市	10.0		3.4	6.6		
まちづくり活動 推進事業									
計				253.0	0.0	3.4	8.6	148.0	93.0
合計				6,763.2	698.6	3,256.5	1,782.1	529.0	497.0
累計進捗率（％）					10.3%	58.5%	84.8%	92.7%	100.0%
（参考）都市構造再編集中支援事業関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率（％）					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
（参考）関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合計				0	0	0	0	0	0
累計進捗率（％）					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!